

ありがとうグループホーム 見学会&運営セミナー

写真撮影
OK!



各書類の実物をお見せします!



2018年

日程 **3月20日(火)・21日(水・祝)**

参加費 **35,000円** (資料代含む・税込)

会場 メディケアデイサービス2F
ありがとう グループホーム
〒721-0902 広島県福山市春日町浦上1205

定員 **40名**

ありがとうグループホームの特徴

- ・記録・計画書・各種書類をお見せします!!
- ・施設・設備の写真撮影 OK!!
- ・運営のQ&Aにスタッフが直接お答えします
- ・2種のサ高住見学もあり **開設3ヶ月で満室**

入居待ち
約**70名!!**

共用デイ
実施 2017年
6月~

7割が
介護福祉士

加算は
すべて算定!!

離職率
5%以下

転倒骨折
少

平成16年
開設

2ユニット18名定員(1ユニット9名)

入居者の介護度 要介護5…6名 要介護4…1名 要介護3…4名 要介護2…4名 要介護1…3名

リスクマネジメント

- ・転倒骨折5年間でゼロ
NHK eテレでも放映!!
(平成26年7月12日)
- ・ヒヤリハット報告書の工夫
- ・体調不良による入院も少ない!

質の高い職員

- ・ほぼ100%正社員
- ・全員有資格者
- ・7割が介護福祉士

職員のアイデアで始まった活動・環境!!



1泊2日の旅行



お地蔵さん

ターミナルケア

- ・独自ツールで充実のシステムを構築
看取りケアマニュアル、看取りケアの質チェックシート、エンゼルケアマニュアル、重症化時説明ツールなど

育成制度が充実

- ・約9割が全国レベルの学会発表経験者
- ・認知症介護指導者…1名
- ・実践者研修修了者…10名
- ・法人内学会実施
(パートを含む全員が3回以上発表)



運動会



車イスの方でも作業ができる畑

充実のケア・環境

- ・1人ひとりに合わせた環境設定
- ・担当制、家族報告書、家族面談
- ・環境の工夫(転倒しにくい階段等)
- ・認知力低下に対するケア

定着率バツグン!

- ・法人の離職率5%以下を5年以上継続
- ・デイ等へ異動後も「グループホームがいい」という希望が多数
- ・産休復帰率ほぼ100%



ちびっ子集まれ



ゆかた祭り

ありがとうのグループホーム・サ高住を見て聞いて学んでいただく2日間!

充実したスタッフ体制で高品質のケアを提供しているありがとうのグループホーム、サービス付き高齢者住宅のさまざまな工夫をご覧ください。



3月20日(火)

10:00

ありがとう集合 施設見学会

写真撮影OK!!

- ① グループホーム (2ユニット)
- ② グループホーム庭



12:30

昼休憩 (食事はこちらでご用意します)

13:30

セミナー① 施設概要とスタッフ配置の工夫

特別講演 地域包括ケアにおける グループホームの役割

セミナー② グループホームの活動

セミナー③ グループホームの環境の工夫

15:45

休憩

セミナー④ ADL ケアの工夫

セミナー⑤ スタッフマネジメント

18:10

見学施設についての質疑応答
※見学施設の管理者に直接質疑応答できます

18:30

終了

19:00

交流会
(交流会費は別途実費徴収いたします)

特別講演

地域包括ケアにおけるグループホームの役割

講師：ありがとう総施設長 / (株) QOL サービス代表取締役 妹尾 弘幸

高齢者を住み慣れた場所で自分らしい生活を続けていくには、地域で支えていく地域包括ケアシステムの構築が重要です。住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを実現するためにグループホームがどのように関わっていくのかをお伝えします。

セミナー① 施設概要とスタッフ配置の工夫

木造2階建ての1階部分がグループホームです。各種加算はほぼすべて算定。共用デイも実施 (平成29年6月より)。リハビリガーデンの工夫や日々の職員配置の工夫をお伝えします。



外観

セミナー② グループホームの活動

～1日・1週間・1ヶ月・1年間～

本人 (入居者)・家族と行く1泊2日の旅行、お月見会、ゆかた祭り、ちびっこ集まれなど、充実の年間行事のほか、毎日行う下肢機能低下防止訓練、地域住民と行う避難訓練、救急処置勉強会、毎月の防災チェックなど、グループホームでの各種活動をご紹介します。



一泊旅行

セミナー③ グループホームの環境の工夫

桐の無垢材の床、竹の無垢材の更衣室、珪藻土の壁、高さ56～70cmのさまざまな高さのテーブル、居室入口の飾り棚、低い位置の掲示板、やや高めコンセントなど、環境の工夫をお伝えします。認知症高齢者は転倒発生率が高く、グループホームでは、「豊かな活動と転倒予防」をいかに両立させるかが課題となります。NHK e テレでも放映された転倒予防活動のあれこれを、わかりやすく紹介します。



低床ベッドをマットレスに変更

セミナー④ ADL ケアの工夫

食事の混ぜ重ね現象・移送障害・嚥下障害・便秘・脱水・排泄・入浴・整容・移動・コミュニケーション・睡眠など、認知症の人によく見られる各種症状に対する工夫について事例を踏まえて紹介します。



台所にある誤嚥予防の掲示物



お風呂



トイレ

セミナー⑤ スタッフマネジメント

ほぼ全員が正社員。グループホーム経験年数は平均2.6年ながら、9割以上が全国大会・学会での発表経験者です。また、夜勤は全員で均等に実施し、基本的に入社2ヶ月目から独り立ちして夜勤をします。離職率は5年以上連続して5%以下。各種福利厚生やモチベーションアップのシステムなど、やる気あふれる職員の育て方を伝授します。



学会発表

各施設の見どころ

グループホーム

床には「桐材」を使用。膝への負担が少なく、滑りにくく、温かい素材がご利用者の健康を守ります。また、壁材の珪藻土は結露を防ぎ、カビ・ダニの発生を抑え、気になる臭いを吸収します。



庭に首のポストを設置



桐材の床

グラシアス・アネックス

激戦区の福山市で開設3ヶ月で満室！以後ほぼ満室をキープし続けているサ高住です！見た目だけではなく足腰にも優しい木造住宅。居室換気口、室内物干し、高さ調整可能な棚、掲示用ボードなど、暮らしやすさの工夫もいっぱいです。

外観



居室例



リハビリハウス

7月
NEW
OPEN

リハビリができるサ高住として7月にオープンしました。日常の中で自主訓練をして生活機能を維持・改善し「ご本人の豊かな生活」「自宅復帰」を目指していきます。

トレーニングルーム



天井が高いリビング

3月21日 水・祝

10:00

ありがとう集合 施設見学会

写真撮影 OK!!

- ① サ高住 グラシアス・アネックス
- ② サ高住 リハビリハウス
- ③ リハビリショート



12:00

昼休憩 (グループワーク)

13:00

セミナー⑥

家族連携・家族支援

セミナー⑦

運営推進会議・地域拠点活動の工夫

セミナー⑧

リスクマネジメント

14:50

休憩

15:05

セミナー⑨

書類・記録・情報共有の工夫

セミナー⑩

グループホームでのターミナルケア

16:15

見学施設についての質疑応答

※見学施設の管理者に直接質疑応答できます

16:45

終了



セミナー⑥ 家族連携・家族支援

利用者担当制、人生充実目標、全家族との個別面談、毎月の報告書、家族の面会を増やす工夫など、家族との上手な付き合い方の工夫をお伝えします。



家族への報告書



家族会

セミナー⑦ 運営推進会議・地域拠点活動の工夫

市役所、民生委員、消防署、派出所、地域の方々との協力で実施している運営推進会議の、スライドショーによる説明や意見交換の工夫をお伝えするとともに、認知症カフェ・認知症サポーター養成講座などの地域拠点活動について報告します。



運営推進会議

セミナー⑧ リスクマネジメント

グループホームでは、転倒のほか、行方不明、暴言・暴力、誤薬、異食など、さまざまなリスクがあります。毎年、怪我や体調不良による入院がほぼゼロの当グループホームのリスクマネジメントについてお伝えします。



階段のライン

セミナー⑨ 書類・記録・情報共有の工夫

早出・日勤・夜勤とさまざまな勤務体系のあるグループホームでいかに情報共有を図るかは多くのグループホームでの悩みです。また、他のグループホームでどのような書類様式を使っているかも、参加者の皆さんは気になるところでしょう。今回の施設見学会では、情報共有の工夫についてお伝えするとともに、実際の介護記録をドーンとお見せします。



休憩室のコルクボード

セミナー⑩ グループホームでのターミナルケア

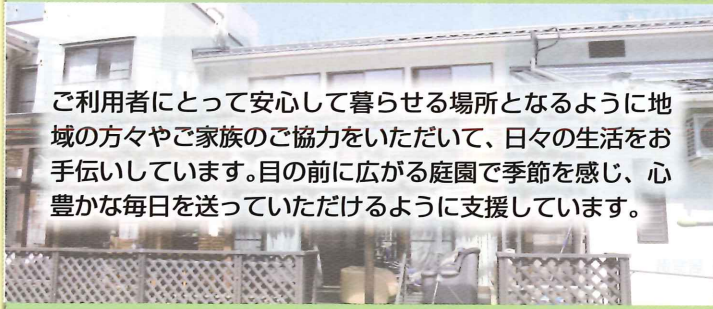
小規模のグループホームならではのターミナルケアにはさまざまな良さがありますが、同時に、職員のストレス対策や医療連携などの悩みも多く出てきます。「ターミナルケアマニュアル」「看取りのケアの質の評価表」「エンゼルケアマニュアル」など、独自の工夫を一挙にお伝えします。



ターミナル時の申し送り用紙

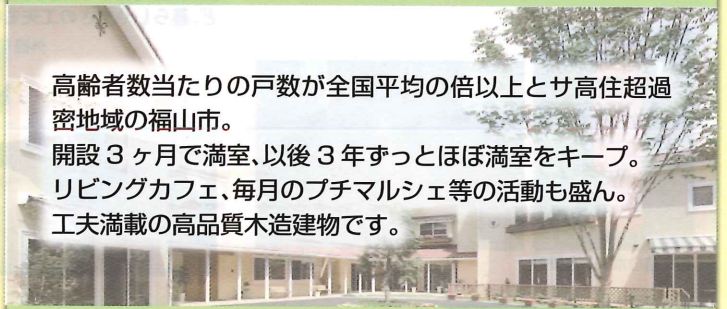
ありがとうの4施設を紹介

グループホーム



ご利用者にとって安心して暮らせる場所となるように地域の方々やご家族のご協力をいただき、日々の生活をお手伝いしています。目の前に広がる庭園で季節を感じ、心豊かな毎日を送っていただけるように支援しています。

グラシアス・アネックス



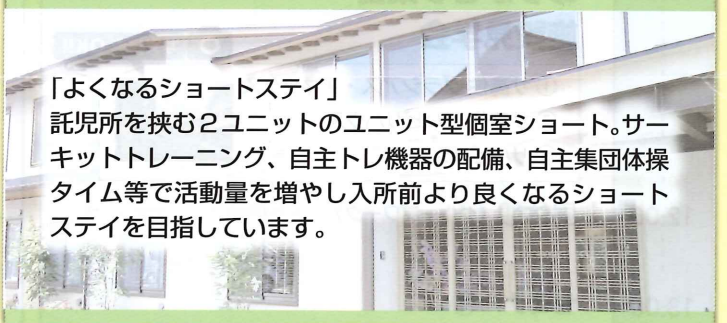
高齢者数当たりの戸数が全国平均の倍以上とサ高住超過密地域の福山市。
開設3ヶ月で満室、以後3年ずっとほぼ満室をキープ。
リビングカフェ、毎月のプチマルシェ等の活動も盛ん。
工夫満載の高品質木造建物です。

リハビリハウス



自宅復帰へのリハビリに注力したサ高住。
トレーニングルーム、自主トレ機器の設置、リハ専門職、リハビリケア専門士等による層別訓練提供システム等を実施しています。

リハビリショート



「よくなるショートステイ」
託児所を挟む2ユニットのユニット型個室ショート。サーキットトレーニング、自主トレ機器の配備、自主集団体操タイム等で活動量を増やし入所前よりよくなるショートステイを目指しています。

必見 各種資料の展示・閲覧

- ① 開設以来、毎年参加している各種学会などでの発表用スライド資料一挙公開
- ② ありがとう通信
- ③ 各種介護記録
(介護計画、評価用紙、ヒヤリハット用紙など)
- ④ 入居者向け配布資料
- ⑤ グループホーム勉強会資料
- ⑥ ターミナルケアマニュアル
- ⑦ エンゼルケアマニュアル
- ⑧ 重症化時の介護方針
- ⑨ 看取りケアの質の評価表
- ⑩ その他



ありがとうグループホーム見学会&運営セミナー 2018/3/20-21 参加申し込み書 FAX 084-948-0641

ふりがな			
参加者名	①参加者代表	②	③
住所 (自宅勤務先)	〒	連絡先 (自宅・勤務先)	TEL
勤務先			FAX
			携帯
			メール (必須)

※上記個人情報は、当研究会の管理・運営に関してのみ使用します。最少催行人数に達しない場合は中止になる場合もありますので、ご了承ください。
参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、事務局までご連絡ください。

研究会

〒721-0902
広島県福山市春日町浦上1205(株)QOLサービス内

福山認知症ケア研修会
日本通所ケア研究会事務局

TEL 084-971-6686

ホームページ <http://www.tsuusho.com/> メール info@tsuusho.com

FAX 084-948-0641